



# 総合資料館だより

2013. 7. 1 No. 176

## 東寺百合文書がユネスコの記憶遺産に推薦されます



東寺百合文書シ函と文書

国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の記憶遺産への登録を目指し、当館所蔵の国宝・東寺百合文書（とうじひやくごうもんじょ）が推薦されることになりました。2014年3月に国内の記憶遺産選考委員会からユネスコへ推薦書が提出され、2015年5月ごろに記憶遺産に登録されるかどうかが決まることとなります。

記憶遺産には、いわゆる「文化財」に限定されないユニークなものも含まれており、フランスの人権宣言やゲーテンベルグ聖書などのほか、アンネ・フランクの日記、アパルトヘイト時代のネルソン・マンデラの逮捕状、フリッツ・ラングの映画「メトロポリス」といったものも登録されています。日本からは山本作兵衛炭坑記録画・記録文書が2011年5月に、陽明文庫（京都市右京区）所蔵の御堂関白記（国宝）と仙台市博物館所蔵の慶長遣欧使節関係資料（国宝）が2013年6月に登録されました。

東寺百合文書は、東寺という大きな組織が平安時代以来長年にわたって活動するなかで蓄積してきた2万点近い文書のかたまりです。日本の中世において人々が何を考えどのようなことをしていたのかを探ろうとするときには欠かせないものであり、記憶遺産として国内のみならず、国際的な認知を受けるのにふさわしい史料です。（次ページへ続く）

目次	東寺百合文書がユネスコの記憶遺産に推薦されます	1
	総合資料館50周年記念事業について、寺子屋講座、新館情報	3
	文献課の窓から 8月16日は火事にご用心?～京都の火災と大文字送り火～	4
	最近の収集資料から（平成25年3月～5月）	6
	友の会事務局から、古文書相談のご案内、日誌、利用案内	8

## 記憶遺産とは

ユネスコの記憶遺産は、文書や書物、地図、音楽、写真、映画などの大切な記憶遺産の保存を促進すること、なるべく多くの人々がアクセスできるようにすること、それら記憶遺産の存在や重要性を広く知ってもらうことなどを目的としています。資料へのアクセスというのは、展示などの方法で資料の実物を見たり読んだりできる機会を提供することだけではなく、複製を作成・公開することで、より多くの人々がその資料を利用できるようにすることも含まれます。たとえば、文字で書かれているものなら活字化して本として出版したり、あるいは写真で印刷出版したりすることです。

## これまでの取り組みと現在

総合資料館では、東寺百合文書の受け入れ後、整理を進め、目録の作成や文書の補修を行い、保存と公開の体制を整えてきました。文書原本については、展覧会を開催してご覧いただく機会を設けたり、研究上特に必要があるときには申請の上で希望の文書を閲覧できるようにしています。また複製としては、全ての文書をマイクロフィルムに撮影し、これをA4サイズの用紙に焼き付けて製本した写真帳を文書閲覧室にらべています。写真帳のほかにも東京大学史料編纂所や当館が翻刻（ほんこく）出版を続けている史料集（まだまだ文書の一部ですが）で活字となったものを利用することもできます。

ところで、現在の東寺百合文書の複製はもっぱら「紙媒体」です。目録や翻刻本は紙に印刷されたものですし、写真帳もマイクロフィルムをCHペーパーという紙に焼き付けて製本したものです。「紙」でたくさんの複製が作られ、多くの図書館や研究機関がそれらの複製を所蔵・公開することによって、原本を所蔵する総合資料館から遠く離れた場所にいる多くの人々が東寺百合文書を利用することができます。

しかし、まわりを見回すといつのまにか、紙をめくって見ていたものがネットワークを介してコンピュータや携帯電話、スマートフォンで見るといように変化しつつあります。ユネスコの記

憶遺産においても、資料への幅広いアクセスを可能とするデジタル技術の利用が重視されています。図書館や研究機関まで足を運ぶことなく、時間・場所を問わずに東寺百合文書を見ることができるようになると、より広くかつ深く利用されるようになるのではないのでしょうか。

## デジタル化と公開

そこで、総合資料館では現在、東寺百合文書のデジタル化（スキャナによる画像データの作成）に取り組んでいます。全18,704点の文書のうち、イ函からラ函までの5,494点は平成25年1月から3月までにデジタル化を完了しました。平成25年度はム函以降の13,210点について作業を行い、文書全てのデジタル化を完了させます。

デジタル化された東寺百合文書を誰でも見ることができるようするには、まずそのデータをネットワークの上に置くことが必要ですし、それに加えてたくさんの画像データのなかから必要な文書の画像を探し出せるようにする手段も必要になります。現在進めている画像データの作成作業はそのための第一歩になります。

テレビや新聞で記憶遺産への推薦決定が取り上げられて、東寺百合文書に対して様々な期待が高まる中、記憶遺産となるのにふさわしく世界の人々から利用してもらうためにも暫定的なシステムではありますが早期に画像の公開を行う予定です。その上で、新資料館のオープンにあわせて提供される新しい資料閲覧システムでは、デジタル化された東寺百合文書の全面的な公開を目指しています。どうぞ、ご期待ください。



## ユネスコ記憶遺産ホームページ

<http://www.unesco.org/new/en/communication-and-information/flagship-project-activities/memory-of-the-world/homepage/>



## 総合資料館開館 50 周年記念事業について

京都府立総合資料館は、昭和38年（1963）11月15日に北山の現在地に開館して以来、今年で開館50周年を迎えました。総合資料館では統一ロゴを作成し、本年度中にさまざまな開館50周年記念事業を計画しています。

### トークセッション「新資料館に期待する」

日時・場所：平成25年7月14日（日）午後1時30分～4時30分 当館2階会議室

### 寺子屋講座 「夏を涼しく！ 京うちわ」〔下記参照〕

### ユネスコ記憶遺産推薦決定 東寺百合文書記念シンポジウム（予定）

日時・場所：10月14日（月・祝）午後1時～5時 府立大学 合同講義室棟第3講義室

### 開館50周年記念シンポジウム（予定）

日時・場所：11月16日（土）午前10時～午後5時 京都府職員研修・研究支援センター

### 京都府立総合資料館開館50周年記念特別展示【会場：当館2階展示室】

〔第1部〕ユネスコ記憶遺産推薦決定記念 平成25年度東寺百合文書展

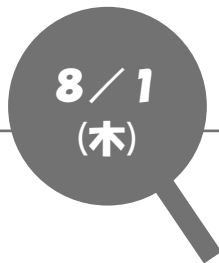
〔第2部〕資料にぞくっ！～昭和で25年・平成で25年を所蔵品でふりかえる～

会期：〔第1部〕10月12日（土）～11月10日（日） 〔第2部〕11月14日（木）～12月15日（日）

### 『総合資料館50年誌』の刊行

このほかにも、企画は目白押しです。ぜひふるってご参加下さい。

#### 総合資料館 50 周年記念事業



京都の暑い夏を過ごす生活の知恵を分かりやすく解説し、「京うちわ」に絵を描きます。夏休みの自由研究などにもぴったり！



#### 寺子屋講座

## 夏を涼しく！ 京うちわ

- 日時 8月1日（木）午前10時～12時
- 場所 総合資料館 会議室
- 講師 日展所属日本画家 鵜飼雅樹先生
- 定員 小学4年生以上20人（小学生は保護者同伴）
- 受付 はがき・FAX・Eメール

京都府立総合資料館

はがき：〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4 FAX: 075-791-9466

Eメール：shiryokan-shomu@pref.kyoto.lg.jp

\* 氏名（ふりがな）、電話番号、学生の方は学年を明記してください。

#### 新館情報

#### ■新総合資料館（仮称）新築工事（主体工事）

2月1日入札公告：予定価格内での入札がなく、不成立

5月1日再入札公告：6月5日に行われた開札で「竹中・増田・あめりか屋特定建設工事共同企業体」が5,995,500,000円（税込）で落札



## 8月16日は火事にご用心？ ～京都の火災と大文字送り火～

京都市では、毎年7月初旬に「夏の文化財防火運動」が実施されています。これは、数多くの貴重な文化財を火災や地震などの災害から守り、住民の文化財に対する防火・防災意識を啓発するために行われているもので、期間中には、寺社や地域での防火訓練等が予定されています。夏の防火運動は、昭和25（1950）年7月2日、鹿苑寺（金閣寺）の金閣が放火により全焼したことを契機として、京都市独自に取り組みが始まったものです。全国的には、昭和24年1月26日の法隆寺金堂の火災をきっかけとして制定された「文化財防火デー」の時期に「文化財防火運動」が実施されています。

実際に、文化財の火災は、冬に限らず夏にも多発しています。例えば、昭和37年7月には、壬生寺の本堂が放火により全焼、重要文化財の仏像が焼失し、同年9月には、妙心寺の浴鐘楼（重要文化財）が同じく放火により焼失しました。このように見てみると、夏の火災は放火によるものが多いようです。

本稿では、8月16日、つまり「五山送り火」の日に発生した、京都の大きな火事について紹介します。

### (1) 8月16日の火事 その1

まず、昭和29年8月16日に発生した、小御所（こごしよ）の火事について紹介します。

京都御所にある小御所は、幕末の慶応3年12月9日（1868年1月3日）に、同日の「王政復古の号令」を受けて開催された「小御所会議」の舞台となった、歴史的由緒のある建物です。

8月16日は、盆行事の「五山送り火」の日で、市民や観光客等、たくさんの人々が訪れていた鴨川の河原で、午後7時から読売新聞社主催の花火大会が開催されました。その打ち上げ花火の落下傘が、二十数個も京都御所内に風で飛ばされ、それらの一部が小御所の檜皮葺の屋根に落ちて、燃え残りの火が燃え移ったのです。

市内の全消防車が駆けつけて消火にあたりましたが、日照り続きで大気が乾燥していたため火の回りが早く、夜空に50メートルもの火柱を上げ

て燃え続け、消防車も近づくことができないありさまで、小御所は全焼してしまいました。

一時は紫宸殿も類焼の危機にさらされたのですが、それを食い止めることが出来たのは、御所水道のおかげでした。

御所水道（\*）とは、琵琶湖疏水の水を直通で京都御所に供給するための施設で、九条山のポンプ室で汲み上げた水を、一旦、貯水池に溜めおいて、専用の送水管を使用して、平常時にはそれほど多量の水を必要としないため低圧で送水し、非常時には高圧水を送水できるようにしたものです。専用の電話回線と信号線も引かれ、緊急時に対応できるようになっていました。この貯水池は、戦後、GHQによって京都市に移管され九条山浄水場となっていました。小御所の火災の際には、京都御所からの急報を受け、高圧送水に切り替えての送水が実施されました。『琵琶湖疏水の百年』には、必死でバルブの操作にあたった当時の宿直員の生々しい証言が掲載され、「御所水道の高圧水が実際に使用されたのは、あとにも先にもこのとき1回きりであった。」と記されています。

御所水道は、明治32（1899）年から調査が始まりましたが、明治45年の5月にようやく完成しています。この間、日露戦争により計画が頓挫しかけたものの、田辺朔郎等の粘り強い努力が実を結び、完成にこぎつけたものです。緊急時の高圧送水の使用は、この時ばかりとはいえ、他の建物への類焼を免れたことは、田辺の卓見が後世に大いに貢献したといえます。

\*御所水道は、平成4年に廃止されました。



九条山ポンプ室（土橋誠氏撮影）

## (2)8月16日の火事 その2

小御所の火事から遡ること、30年余。大正10(1921)年8月16日の早朝にも、京都の街中で大きな火災がありました。

この写真の祇園祭の長刀鉾の背景にそびえるインドサラセン様式の建物は、明治45年に建て



祇園祭・山鉾巡行・長刀鉾  
(石井行昌撮影写真資料  
京都府立総合資料館寄託)

られた大丸呉服店の京都店(現在の大丸京都店)ですが、この建物が全焼する火災が発生しました。大丸は、享保2(1717)年に創業した大文字屋呉服店が発祥で、この屋号は、「あかあかと燃えさかる大文字の送り火を繁栄の象徴と感じて名付けられた。」と伝えられています。

さて、大丸の火事は、同日付の「京都日出新聞」の夕刊にも「四條高倉「大丸」呉服店全焼」という見出しで、大きく報道されています。これによれば、午前5時頃出火、連日の炎暑で大気が乾燥していたため、「折箱を燃やすがごとく、ペリペリ、ペリペリと凄まじい音を立て、800坪の店舗がわずか30分足らずで全焼した。」ということで、「火事は大丸だ!」と、多数の野次馬で大騒ぎとなり、押し寄せた群衆は、数万とも記されています。ただ、不幸中の幸いというべきか、夏物はほとんど売り尽くし、冬物の仕入れがまだの時期であったため、被害額は、意外に少なかったようだと報じられています。

さらに、翌17日付の朝刊では「不幸重なる下村家」という見出しで、社長の下村正太郎は、謹厚温雅の好紳士で、大丸の経営を立て直した有能な実業家であるが、前年に、妻の妙子が妊娠中に亡くなり、同年2月には大阪店が全焼し、下村自身も病氣療養中であることなどを挙げて、「実に同情に余りある次第である。」という記事まで掲載されています。余談ながら、妻の妙子の死因は、当時、世界的に大流行したスペイン風邪でしたが、実は妙子は、元第三高等学校長の折田彦市の娘で、折田の看病中に自らも罹患し、父と共に亡くなったのでした。

肝心の火事の原因については、早くも16日付の夕刊で、漏電が原因と言われることに先手を打つように、「漏電は火事の一つの流行語で、そのように言うのは電気の知識がない人である。」という趣旨の京都電灯会社の職員の見解が載せられ、23日付の新聞記事でも放火、漏電、たばこの不始末等の原因を考えたが、「全く原因不明」と記される等、原因究明は難航したようですが、最終的には漏電とされています。

さて、大丸京都店では、早速、焼け跡にバラック店舗「フェニックス・ホール」を仮設し、売出しを始めたところ、市民の同情を集めて大変な盛況となりました。フェニックスの名前のとおり、不死鳥のごとくよみがえったのです。

大丸の店員であった前川竹之助の回想録『大丸と私 感謝之生活四十年』には、この売出しが大変な人気であったこと、久邇宮邦彦王のご一家が来店し、良子女王殿下(後の香淳皇后)も一緒に「お汁粉をお召し上がりになった。」というエピソードが感慨深げに記されています。バラック店舗の隣に建築した、鉄筋3階建の仮店舗も早急に完成し、12月1日から営業を再開することが出来たとのことでした。

以上、8月16日の2件の火事について紹介しました。いよいよ夏本番を迎えます。7月末には、火伏せ、防火の御利益がある、愛宕神社の千日詣りが行われ、8月16日には、五山送り火も開催されます。皆さんの身边を、今一度振り返っていただき、防火への備えを再確認していただくきっかけとなれば幸甚です。

(文献課 松田万智子)

### 〈参考文献〉

- ・『京都府百年の年表 6,7』 京都府立総合資料館編 京都府 1970
- ・『戦後京の二十年史』 夕刊京都新聞社 1966
- ・『琵琶湖疏水の百年 叙述編』 京都新聞社編 京都市水道局 1990
- ・『京都市水道百年史 叙述編』 京都市上下水道局編刊 2013
- ・『大丸二百五十年史』 大丸 1967
- ・『大丸と私』 前川竹之助 1935
- ・『一枚の肖像画』 三高同窓会 1993
- ・『京都日出新聞』及び『京都新聞』



## 最近の収集資料から（平成25年3月～5月）



### ◆図書資料

〈京都〉

国際日本文化研究センター25年史 資料編  
人間文化研究機構国際日本文化研究センター  
編刊 2012 431p 寄贈

福知山地方の狛犬 塩見昭吾著刊 2013  
242p 寄贈

深草を語る 深草を語る会著 深草記念会  
2013 191p 寄贈

八重・襄・覚馬 三人の出会い 吉田曠二著  
坂井誠著 芸艸堂 2012 22,204p

燦燦!! 美也子とわたくし 榎本頼兼著刊  
2012 403p 図版2枚 寄贈

続木齋物語 百年前の京都で本物のパンを求め  
た人 進々堂[編]刊 2013 10p

きょうのやましなさん。 人がすき。まちがす  
き。そんなあたたかい人物語。 [やましなさん  
事務局編刊] 2013 1冊

「丹後ふるさと夢・未来デザイン」事業優秀作  
品記録集 平成24年度 京都府丹後教育局[編]  
刊 2013 65p

ダイナスクラブ京都レストランウインタースペ  
シャル 公式ガイドブック 2013 ダイナース  
クラブ京都レストランウインタースペシャル2013  
事務局[編] [京都国際観光レストラン協会]  
[2013] 128p 寄贈

ふしみの粕汁 伏見まるごと博物館編刊  
2013 14p (シリーズ伏見の暮らし Vol.1)  
寄贈

茶の湯の曲物 木具師の仕事、そのわざと美  
橋村萬象著 淡交社 2013 93p 寄贈

暮れなずむホサビ山 西浦明著[刊] 2013  
266,22p 寄贈

ふるさと文学さんぽ 京都 真銅正宏監修 大  
和書房 2012 222p

〈人文〉

BOOK PAGE 本の年鑑 2013-1,2 日外アソシ  
エーツ編刊 紀伊國屋書店(発売) 2013 2冊

全国各種団体名鑑 2013 上・中・下巻,別冊  
原書房編刊 2012 4冊

ブリタニカ国際年鑑 2013 ブリタニカ・ジャパ  
ン 2013 650p

読売年鑑 2013年版 読売新聞東京本社  
2013 28,767p

日本の図書館 統計と名簿 2012 日本図書館  
協会編刊 2013 510p

読書世論調査 2013年版 毎日新聞東京本社広  
告局 2013 137p

皇室制度史料 儀制成年式3 宮内庁編刊  
2013 3,382p 寄贈

羽林要秘抄 上卿簡要抄 前田育徳会尊経閣文  
庫編 八木書店刊(発売) 2013 125,27p 図版2  
枚 (尊経閣善本影印集成 54)

平安時代貿易管理制度史の研究 渡邊誠著 思  
文閣出版 2012 5,372,16p

戦国大名佐々木六角氏の基礎研究 村井祐樹  
著 思文閣出版 2012 5,512,8p

岩倉具視関係史料 上・下 佐々木克・藤井讓  
治・三澤純・谷川穰編 思文閣出版 2012 2冊

**明治天皇大喪儀写真** 橋爪紳也監修・解説 新潮社 2012 158p

**空想動物の世界** 聖なる古代の物語 古代オリエント博物館[編] MIHO MUSEUM[編]刊 2012 49p 寄贈

**美術年鑑** 2013 美術年鑑編集部編集 美術年鑑社 2013 919p

**市井展の全貌** 淡交会、珊々会、尚美展から東京会まで 戦前編 東京美術倶楽部編 八木書店 2012 14,521p

**日本石造物辞典** 日本石造物辞典編集委員会編 吉川弘文館 2012 11,1369,23p 図版12p

**上村淳之** 作家の眼 上村淳之[画] 京都市美術館編集 京都新聞社編刊 2012 133p 寄贈

**マウリッツハイス美術館展** オランダ・フランドル絵画の至宝 マウリッツハイス美術館・東京都美術館・神戸市立博物館編 朝日新聞社 2012 199p 寄贈

**藤城清治影絵展** 光と影のファンタジー 藤城清治[作] 藤代清治事務所 2012 317p 寄贈

**アジア陶芸史** 増補版 出川哲朗・中ノ堂一信・弓場紀知編 昭和堂 2012 9,356p

**漆工辞典** 漆工史学会編 角川学芸出版 2012 446,24p 図版31p

〈官庁〉

**統計でみる都道府県のすがた 2013** 総務省統計局編刊 2013 194p

**裁判員裁判実施状況の検証報告書** 最高裁判所事務総局編刊 2012 122p 寄贈

**学術情報基盤実態調査結果報告** 平成24年度文部科学省研究振興局情報課編刊 2013 201p 寄贈

**全国世論調査の現況** 平成24年版 内閣府大臣官房政府広報室編刊 2012 714p 寄贈

**東アジア戦略外観** 2013 防衛省防衛研究所編刊 2013 307p

**世界の統計** 2013 総務省統計研修所編刊 2013 375p 寄贈

**政府予算に関する重点要望書** 平成25年度 京都府編刊 2013 110p

**衆議院議員総選挙最高裁判所裁判官国民審査選挙の記録** 平成24年12月16日執行 京都府選挙管理委員会編刊 [2013] 118p

**京都府保健環境研究所年報** 第57号(平成23年度) 京都府保健環境研究所編刊 2012 109p

**京都市避難所運営マニュアル** 地域でマニュアルづくりを進めていくために 京都市行財政局防災危機管理室[編]刊 2012 32p 寄贈

**宇治市児童虐待初期対応ハンドブック** 平成24年11月改訂版 宇治市・宇治市要保護児童対策地域協議会[編]刊 2012 43p 寄贈

**40周年記念誌** 平成23年版年報 相楽中部消防組合消防本部[編]刊 2013 72p 寄贈

**京丹後市例規集** 平成24年第1・2巻 京丹後市企画総務部総務課編 京丹後市 2013 1709p p1713-3541 寄贈



## 友の会事務局から

○平成25年度の友の会会員は、6月11日現在で201人（男性121人、女性80人）です。

随時入会申込みを受け付けています。

年会費：2,000円、問合せ先：友の会事務局（当館庶務課内）TEL 075-723-4831

○5月21日（火）に役員会を開催し、平成25年度の役員及び事業計画が次のとおり決定されました。

<役員（敬称略）>

会長 渡辺 信一

委員 金剛 永謹

委員 垣野 篤子

監事 黒坂 絃一

監事 宮本 照夫

<退任された方>

長い間お世話になりました。

前会長 佐々木もと子様

<平成25年度事業計画>

- ・現地講座（6/5）
- ・見学会（秋期）
- ・総合資料館府民講座等（館と共催）
- ・展示会の列品解説
- ・総合資料館だよりの共同発行（年4回）
- ・京都文化博物館への入場優待
- ・総合資料館開館50周年記念事業への協賛

○現地講座を6月5日（水）に開催しました。

午前中の同志社大学今出川キャンパスの見学には53人、午後の新島旧邸の見学と同志社大学同志社社史資料センター 社史資料調査員 小枝 弘和氏の講演「2013年NHK大河ドラマ特別展『八重の桜』企画委員が語る八重の魅力」には68人の会員の皆様にご参加いただきました。八重の新たな人物像を発見していただけたのではないかと思います。

## 古文書相談のご案内

○古文書の内容や解読についての相談を郵送にて受け付けております。

○地域に残る資料の解読・整理取り扱いなどに関するご要望があれば、職員が出張して行きます。いずれも詳細は、当館歴史資料課（TEL 075-723-4834）までお問い合わせください。

### 日誌（平成25年3月～5月）

- 2.23（土）～3.17（日）東寺百合文書展  
－原本と翻刻で見る古文書の世界－
- 3.17（日）「地域の歴史を学び未来へ伝えるシンポジウム－洛北岩倉・大原・松ヶ崎の実践報告を中心として－」開催
- 3.21（木）「本づくりプロジェクト」本づけ体験
- 3.23（土）寺子屋講座「京都の歴史を歩こう！2013－早春の松ヶ崎探検ウォーク－」
- 5.20（月）～5.31（金）  
資料整理のため休館
- 5.21（火）「東寺百合文書」ユネスコ記憶遺産への登録に向けた推薦決定

### 利用案内

休館日 祝日法に規定する休日、  
毎月第2水曜日、資料整理期、  
年末年始（12月28日～1月4日）

〔7月～9月の休館日〕

7月10日(水)、15日(月・祝)

8月14日(水)

9月11日(水)、16日(月・祝)、23日(月・祝)

開館時間 午前9時～午後4時30分

交通 京都市営地下鉄烏丸線・北山駅下車  
市バス④、⑧・北山駅下車  
京都バス④⑤、④⑥・前萩町下車

ホームページ <http://www.pref.kyoto.jp/shiryokan/>

発行 京都府立総合資料館

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-4

京都府立総合資料館友の会（振替 01030-2-11991） TEL. 075-723-4831 FAX. 075-791-9466

○本誌に対するご意見・ご感想などを当館庶務課までお寄せください。

再生紙を使用しています。